



令和2年度版
わかりやすい予算書

私たちの横手 2020

～予算はまちづくりの設計図～

市の予算はまちづくりの設計図。

予算には私たちの1年間の暮らしと未来がつまっています。

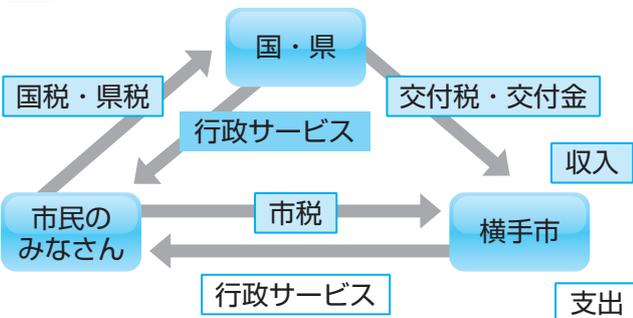
市の令和2年度予算の主な内容をご紹介します。

目 次

1	予算とは	1
2	横手市の予算	2
3	一般会計歳入(収入)の概要	4
4	一般会計歳出(支出)の概要	5
5	横手市総合計画体系図	7
政策別主要事業		
政策1	伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます	8
政策2	学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます	12
政策3	豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます	15
政策4	魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります	18
政策5	暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます	22
政策6	やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます	26
政策7	横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます	28
6	資料	30

1 予算とは

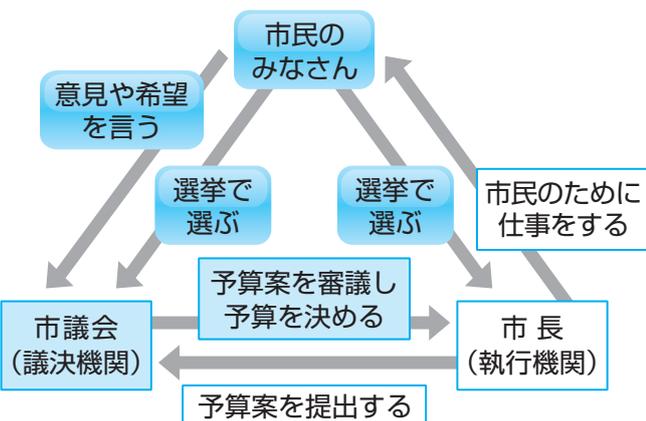
Q 予算って、何？



A 1年間の収入と支出の見積りです。

市民のみなさんから納めていただいている税金は、国、県、市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われています。国、都道府県や市区町村は、新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と行政サービスに使う支出の金額を見積もって、事業の内容などを計画します。

Q 予算って、どうやって決まるの？



A 市長が予算案を作り、市議会で審議されて決まります。

予算を決めるのは、市民のみなさんが選挙で選んだ市長と市議会議員です。

事業を行う担当部署が地域の状況などを見ながら、どのような行政サービスを行うべきかを計画します。その後、これを実施するため、社会情勢や財政状況などを考慮し、実際にどのくらいのお金がいるのかを検討します。市長は、その検討結果に総合的な判断を加えて予算案を作成し、市議会に提出します。

市議会では、市民の声を代表する市議会議員がさまざまな意見を出し合って予算案を審議・議決し、予算が決まります。

横手市の予算は、使いみちや収入源の違いから、3つの会計（一般会計・特別会計・企業会計）に分かれています。

会計別予算

一般会計	543億1,300万円	高齢者福祉や児童福祉、道路整備や学校教育など市役所の基本的な仕事をするための会計で、市の事業の大部分がこの一般会計に含まれます。
特別会計	252億5,620万円	一般会計と切り離して、特定の事業ごとに経理するための予算です。国民健康保険や介護保険、市営温泉施設など8つの特別会計があります。
企業会計	184億8,470万円	独立採算の形で経理する民間企業に近い仕事をするための会計です。病院、水道、下水道の3つの企業会計があります。
合計	980億5,390万円	

横手市の予算を家計簿に置き換えてみました

市の歳入・歳出は家計における収入・支出とは異なるものですが、一般会計予算を10,000分の1にして、年収543万円に換算した場合の家計簿を作成してみました。

一年間の収入

●給料	339万円	令和元年度からの増減 (-12万円)
●基本給 (市税、使用料手数料、諸収入などの自主財源)	126万円	(-7万円)
●諸手当 (地方交付税、地方譲与税交付金など)	213万円	(-5万円)
●医療費や家の改修などに対する助成金 (国庫支出金、県支出金)	107万円	(-4万円)
●金融機関からの借入(市債)	68万円	(-8万円)
●貯金の取崩し(繰入金)	29万円	(+7万円)
合計	543万円	(-17万円)

一年間の支出

●食費(人件費)	101万円	令和元年度からの増減 (+19万円)
●医療費・教育費(扶助費)	94万円	(-1万円)
●銀行ローン返済(公債費)	65万円	(+1万円)
●光熱水費、電話料、日用品の購入(物件費)	64万円	(-25万円)
●車などの修理代(維持補修費)	9万円	(-2万円)
●親戚への援助・町内会の負担金(補助費)	43万円	(-3万円)
●家具、電化製品の購入(普通建設事業費など)	96万円	(-3万円)
●兄弟への貸付(繰出金、投資・出資・貸付金)	69万円	(-1万円)
●貯金など	2万円	(-2万円)
合計	543万円	(-17万円)

横手市の予算ができあがるまでを紹介します

7月	新年度予算編成スタート
8月	道路や建物などの新設・改良を行う建設事業や市の業務を行ううえで必要なコンピューターシステムの導入、単年度限りの要望など各種の照会を皮切りに予算編成がスタートします。
9月	財政課による各施設等の現場訪問やヒアリングも行われます。これにより予算の配分額と予算を編成する際の横手市としての方針を決定します。
10月	予算編成方針説明会 決定した方針を職員へ説明します。例年10月末から11月初めに行われます。
11月	各部署による予算要求スタート 予算編成方針に基づいて各部署で予算の見積りを行い、財政課へ予算の要求を行います。 予算の要求は11月の1か月間で行われます。
12月	財政課予算査定&ヒアリング 各部署から要求された予算の内容を財政課が調査し、査定します。 査定では要求が編成の方針や各種計画に沿ったものか、事業の意義や目的は明確か、財源は何か、将来的な財政負担はどのようになるかなどについてチェックします。12月上旬から下旬にかけて行われます。
	財務部長査定 財政課が査定した内容を財務部長が査定します。
1月	市長査定 財務部長査定を経た要求のなかで、政策的な判断を要する事業を中心に、各部署が事業の内容を市長へ説明し、査定を受けます。
	予算案の決定 市長の査定を経たあとに最終的な全体の調整を経て予算案として決定します。
2月	予算書(案)を市議会へ提出、概要の作成 決定された予算案を市議会に提出します。 また、この時期に予算案の概要を作成し報道機関などに公表します。
3月	市議会3月定例会で予算の審議 いよいよ予算案が市議会による審議を受けます。 本会議をはじめ、各種委員会により入念な審議が行われます。 多くの時間をかけ審議された予算は議決され決定されます。
	新年度予算成立
4月	新年度予算スタート



こちらは令和2年度の横手市の当初予算書です。
約440ページあり、厚さは2センチほどです。
予算書は財務部財政課(本庁舎)でどなたでも実物
を見ることができます。
また市のHPにもPDF版を掲載していますので、
ぜひご覧ください。

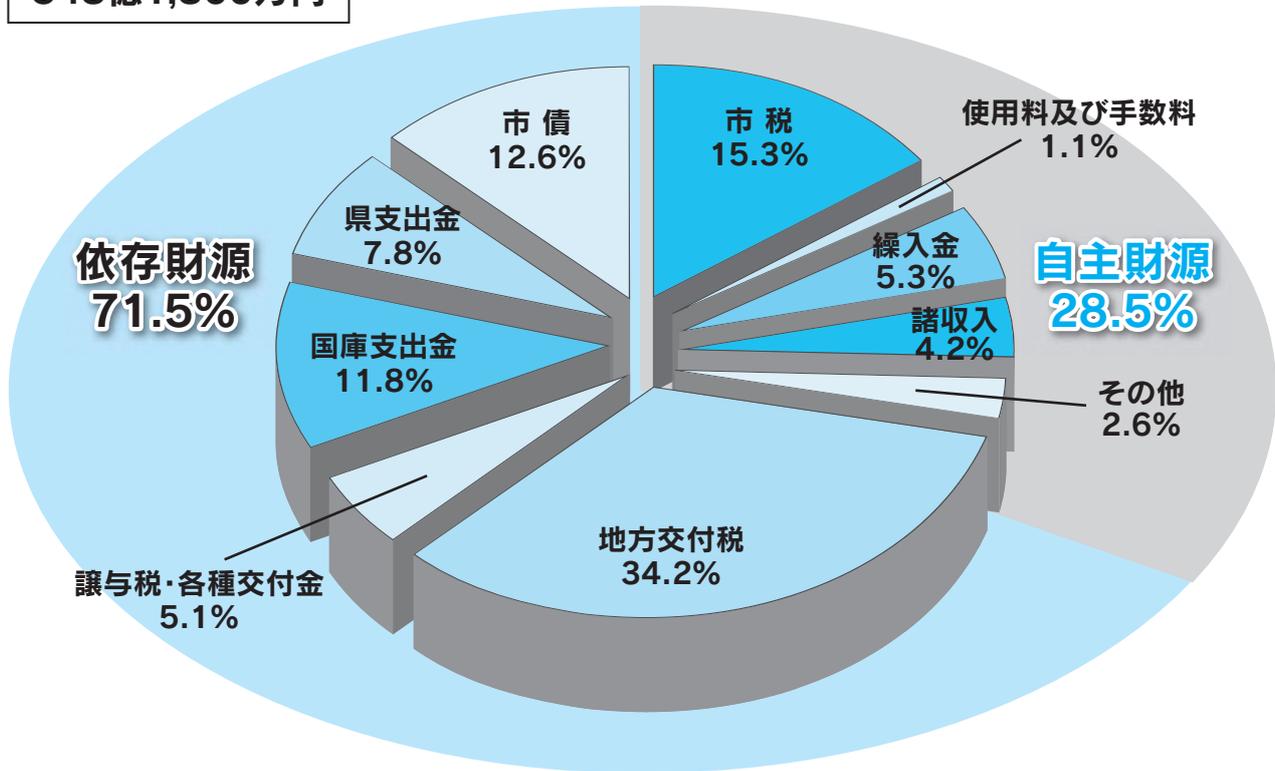
URL <https://www.city.yokote.lg.jp/zaisei/page000040.html>

3

一般会計歳入(収入)の概要

横手市の歳入(収入)は、市民のみなさんに納めていただいた税金や公共施設の使用料、証明書の発行手数料など、自分たちの力で確保した財源「自主財源」と地方交付税や補助金など、国や県に頼っている財源「依存財源」に区分できます。

一般会計歳入総額
543億1,300万円



依存財源 388億4,424万円

地方交付税 185億6,100万円
地方公共団体の財政状況等に応じて国から配分される使い道の制限を受けないお金です。

譲与税・各種交付金 27億8,600万円
みなさんが国に納めた税金の一部で、使い道の制限を受けないお金です。

国庫支出金 64億2,852万円
特定の目的を達成するために、国から交付されるお金です。

県支出金 42億2,862万円
特定の目的を達成するために、県から交付されるお金です。

市債 68億4,010万円
建設事業等を実施するために、横手市が国や金融機関から借り入れるお金です。

自主財源 154億6,876万円

市税 82億6,293万円
みなさんから横手市へ納めていただく税金です。

使用料及び手数料 5億9,666万円
施設の利用や証明書等の発行の際にいただくお金です。

繰入金 28億6,506万円
基金(横手市の貯金)を取り崩して使うお金です。

諸収入 22億5,750万円
他の科目に分類されない預金利子や雑収入などです。

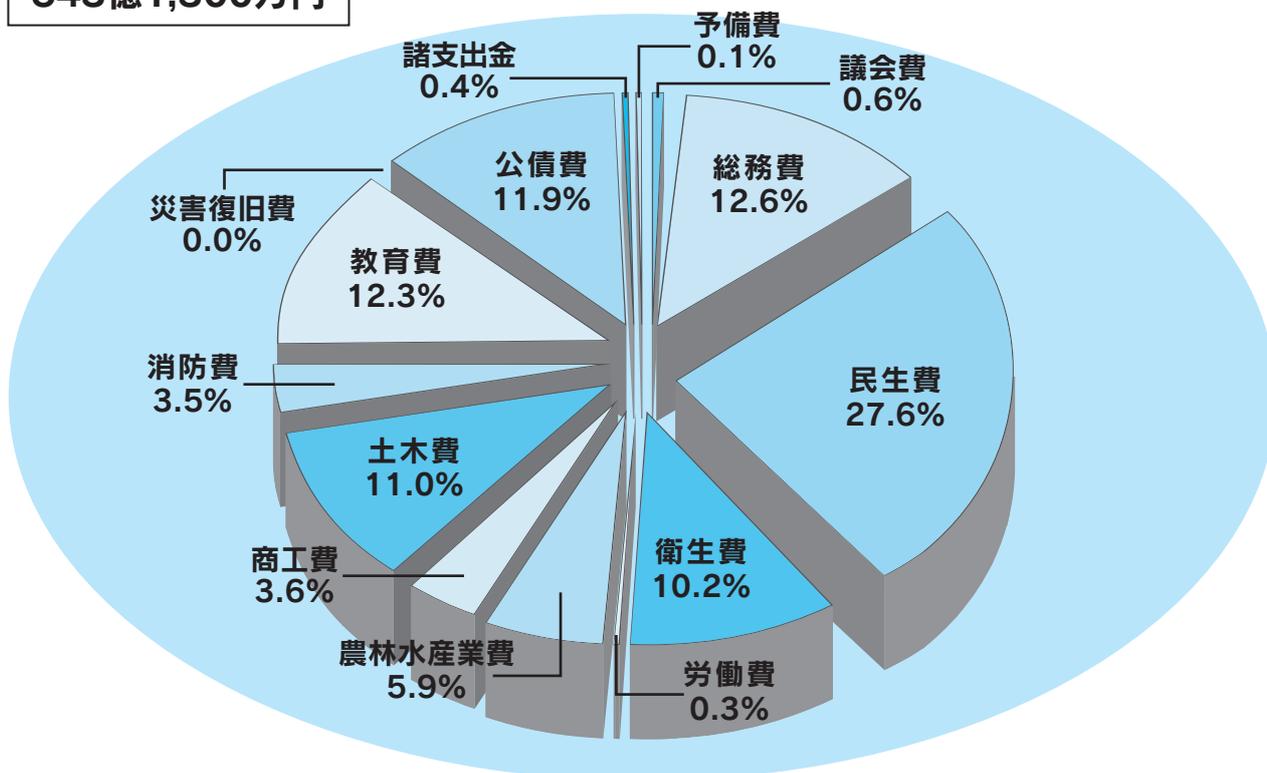
その他 14億8,661万円
前年度からの繰越金や寄附金、不動産売払による収入などです。

4 一般会計歳出(支出)の概要

目的別の概要

横手市の歳出(支出)を土木や教育などの行政目的ごとに分類しました。自治体の予算は、この行政目的ごとに分類して編成することになっています。

一般会計歳出総額
543億1,300万円



議会費 3億993万円
横手市議会の運営にかかる経費です。

総務費 68億956万円
横手市全般の管理運営にかかる経費です。

民生費 149億8,587万円
社会福祉や児童福祉にかかる経費です。

衛生費 55億6,351万円
保健、医療、環境保全にかかる経費です。

労働費 1億3,371万円
労働者の福祉や就労支援にかかる経費です。

農林水産業費 32億1,792万円
農林水産業の振興にかかる経費です。

商工費 19億7,029万円
商工業や観光の振興にかかる経費です。

土木費 59億8,963万円
道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費です。

消防費 18億9,992万円
消防・防災・災害対策にかかる経費です。

教育費 66億9,688万円
学校教育や文化・スポーツの振興にかかる経費です。

災害復旧費 1,240万円
自然災害の復旧にかかる経費です。

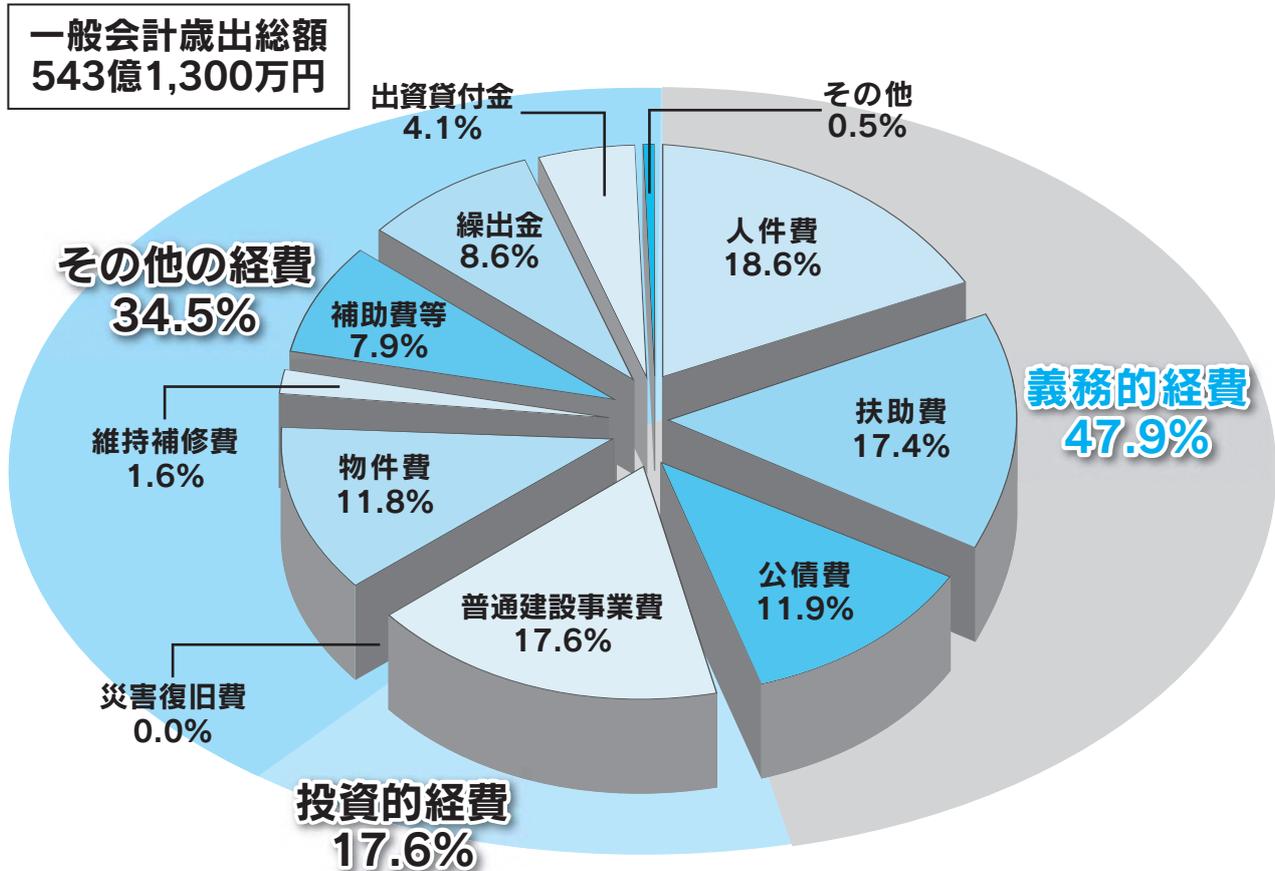
公債費 64億6,985万円
借入金の返済にかかる経費です。

諸支出金 2億353万円
ほかの支出に含まれない経費にかかるお金です。

予備費 5,000万円
緊急の支出に備えるための経費です。

性質別の概要

目的別の分類に続いて、横手市の歳出(支出)を経済的な性質に基づいて分類しました。性質別の分類では、人件費や借入金の返済など、必ず払わなければならない経費「義務的経費」と道路や建物の建設などに使われる経費「投資的経費」、「その他経費」に区分的ことができます。



義務的経費

260億 5,038万円

人件費	101億 4,872万円
扶助費	94億 3,181万円
公債費	64億 6,985万円

職員の給料や議員の報酬などの人件費、生活保護法や児童福祉法などに基づく公的扶助制度として対象の方に支給するための扶助費、借入金の返済にかかる公債費は支出することが義務付けられた経費です。

投資的経費

95億 6,256万円

普通建設事業費	95億 5,016万円
災害復旧費	1,240万円

道路や建物等の公共施設の改築や改修にかかる経費と、自然災害が発生した際の施設復旧にかかる経費です。

その他の経費

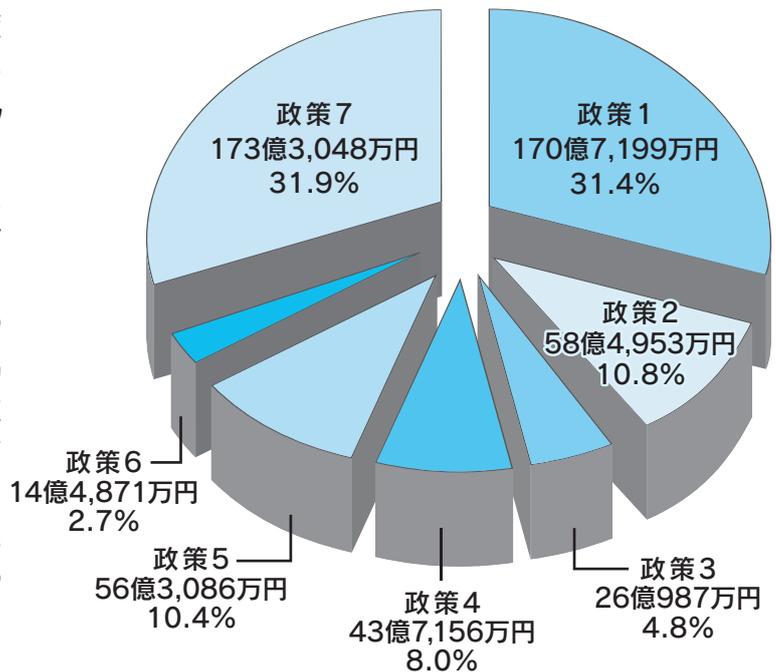
187億 6万円

物件費	64億 746万円
維持補修費	8億 8,459万円
補助費等	42億 7,381万円
繰出金	46億 5,487万円
出資貸付金	22億 2,580万円
その他	2億 5,353万円

光熱水費・消耗品費・通信運搬費などの物件費、施設の維持補修費、各種団体への助成金にかかる補助費等、特別会計への繰出金などにかかる経費です。

横手市の歳出(支出)を、総合計画の政策別に分類しました。市の最上位計画である総合計画では、まちの将来像を「みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて」とし、これを実現するための重点目標を定め、その目標を達成するために以下の7つの政策を掲げています。横手市のすべての事業は、この7つの政策の中に入っており、総合計画で掲げた目標を達成するための予算という位置づけを明確にして各種事業を展開しています。

8ページからは各政策をさらに34の施策に分類し、それぞれの主要な事業についてご紹介します。



将来像

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が燦くまち よこて

重点目標

働く場が充実し、みんなが元気に暮らし続けられるまち
安心して子どもを産み育てられ、みんなが笑顔ですみ続けられるまち

政策 健康福祉

① 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます

政策 教育文化

② 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます

政策 生活環境

③ 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます

政策 産業振興

④ 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

政策 建設交通

⑤ 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます

政策 市民協働

⑥ やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます

政策 行政経営

⑦ 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます